平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 306

事務事業名 花き振興事業

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政 策	040101	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

平成 28	年	9	月	30	日
農林水産部					
農業水産課					
下玉利 輝幸	로	内	線	26	6
坂部 利充	•	内	線	25	52
	農林水産部 農業水産課 下玉利 輝雪	農林水産部 農業水産課 下玉利 輝幸	農林水産部 農業水産課 下玉利 輝幸 内	平成 28 年 9 月 農林水産部 農業水産課 下玉利 輝幸 内線	農林水産部 農業水産課 下玉利 輝幸 内線 26

事業類型	5	負担金·補助金事業
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	060100	

【PLAN(計画)】

【FLAIN(計画/】								
対 象 (者) 誰(何)に対して事業を 行うか	大村市内の花き生産農家、長崎県央農業協同組合							
	新規就農者の新たなハウスの建設し産地の維持を図る。 ・現在の選花ラインは、老朽化が著しく選花効率が低下している。よって、選花ラインの長寿命化を図るため、モーター等の改修、作業台の増設(カウンター付6台を8台)及び集計パネルを設置することにより選花効率を向上させ、人件費の削減を図るとともに、品質の保持、均一化が図られ、販売単価の維持・向上、後継者の就農による産地の拡大が期待できるため、この事業を支援することとなった。							
事 業 概 要 意図を達成するために 実施することは何か	・連棟補強 II 型 (SRH) 3棟 の建設 ・選花ラインの長寿命化を図るため、モーター等の改修・増設、作業台の増設(カウンター付6台を8台)及び集計パネルを設置する。							
事業期間	27 年度 ~ 平成 年度 実施方法 補助							
根拠法令、要綱等	新構造改善加速化支援事業交付要綱、大村市農林水産振興事業補助金交付要綱							
国・県補助事業に 係る本市単独施策	有							

【DO(実施)】

扌			等)	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
		花きの全面積		ha	2.74	2.74	2.74	2.74	
	(1)			IId	2.74	2.74	2.74	2.74	
活動	•		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
指標		花きの全農家数	計画値	戸	6	6	6	6	
標	2	化さり主辰多数	実績値		6	6	6	6	
	0		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
		花き受益面積「実績値(下段)・全母数(上段)]	計画値	ha	2.74	2.74	2.74	2.74	
	(1)	化さ文益国槓[夫禎恒(下校)・王存数(上校)]	実績値	IIa	0.00	0.00	6.56		
成果指		本事業実施分[実績値(下段)/全母数(上 段)]	達成度	%	0.0%	0.0%	239.4%	0.0%	
指		花き受益農家数[実績値(下段)・全母数(上	計画値	%	6	6	6	6	
標	2	段)]	実績値		0	0	3	·	
	2	本事業実施分[実績値(下段)/全母数(上段)]		%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全	体	計	画
① 事 業 費(千円)	0	0	8,505	15,623	0	15,623	15,623				0
国庫支出金											
県 支 出 金			5,670	10,000		10,000	10,000				
地 方 債											
そ の 他											
一 般 財 源			2,835	5,623		5,623	5,623				
② 人 件 費(千円)	0	0	937	1,713	事業内容	事業内容	事業内容		備	考	
職員人数(人)			0.13	0.23							
時間外勤務(時間)			10	20							
嘱託等人数(人)											
フルコスト(①+②千円)	0	0	9,442	17,336							

[※]財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

昨年に組をし	業の進捗状況 年度の評価から、どのような取 をしましたか(昨年度の CTION]の改善・改革の進捗等) ・出27年度事業 カーネーションハウス二重カーテン装置導入事業 ・出28年度事業 連棟補強Ⅱ型(SRH)ハウス3棟(トルコギキョウ等)の建設。 ・選花ラインの長寿命化を図るため、モーター等の改修・増設、作業台の増設(カウンター付6台を8台) 及び集計パネルを設置する。										
事業	が抱える問題・課題等										
	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし					
妥当		見在市内ではハウス栽培を主体とした6戸の農家がカーネーションの栽培、及び協同出荷を行っており、老朽化した選果ライン 等の改善により生産の合理化を図る。また新規就農する後継者のハウスの建設を支援し、産地の維持と活性化を図る。									
性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし					
	花き振興の推進を図り、	農業経営を安	定化するため	、市の関与は必	必要である。						
	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし					
有効		127年度事業に、 ハウスの建設はできなかったが、カーネーションハウス二重カーテン装置導入事業は実施した。 必要最低限で十分な効果が得られるよう改良を行うことで、県内唯一の共同選花を維持し振興する。									
性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし					
	・カー根ション栽培等の高品質化・効率化・省力化等により、生産性の向上が図られる。 ・選花時間の短縮で市場への早期出荷が可能となる。また、人件費の削減ができる。										
	【コスト】	削減の	余地なし	削減の余地あり		該当なし					
効率性	【負担割合】 新構造改善加速化支援		余地なし	見直しの		該当なし					
ľAC	※事業類型が1~3に該当 :TION(改善・改革】				せんしておりませ	:ん。					
【ACTION(改善・改革】 今後の方向性 現状維持 内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に対する取組など) H29年度は要望なし故、H30年度以降要望があれば、施設整備を行う。											
	: D改善・改革によって期待さ 効果は何か										

 今後の方向性
 担当者意見のとおり

 1 次
 終期設定

 意見等
 内容

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。